



第2回

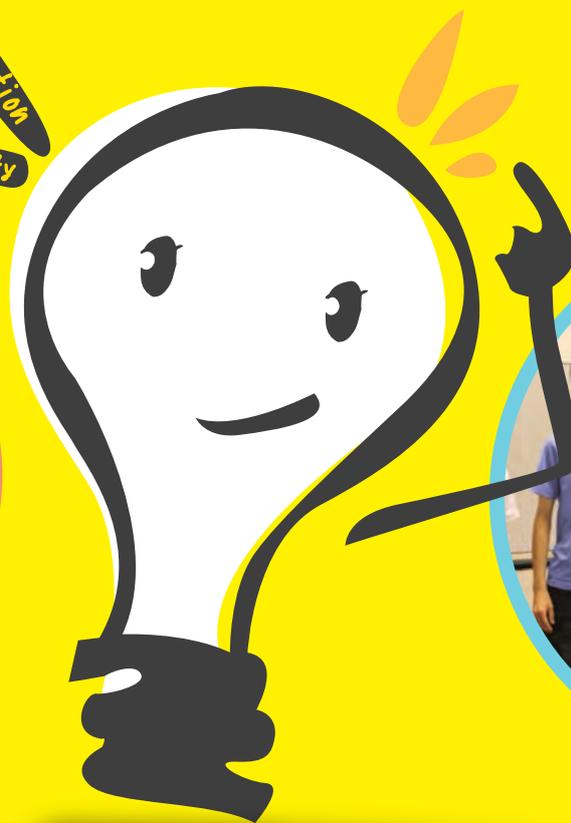


未来ひらめき創造塾

実施報告書



idea
inspiration
imagination
originality



平成27年3月

青森県企画政策部

目 次

1	開催概要	1
2	参加者一覧	2
3	カリキュラム	3
4	取組ごとの概要	4
	(1) 開塾式	4
	(2) ひらめきウォーミングアップ	5
	(3) 「あおもり若者プロジェクト クリエイト」による交流企画	8
	(4) 交流企画（創作ダンス）	9
	(5) チャレンジプロジェクト1（売れる商品づくり編）	10
	(6) 生徒と教師のひらめき創造教室（英語編）	15
	(7) 交流企画（外国人留学生との交流）	23
	(8) チャレンジプロジェクト2（スポーツ編）	24
	(9) 生徒と教師のひらめき創造教室（理科編）	28
	(10) 川口塾長講演「太陽系大航海時代に向けて。今こそ帆を張るとき。」	31
	(11) 交流企画（川口塾長との交流）	31
	(12) 閉塾式	35
5	塾期間中の参加者の様子	36
6	関係者一覧（敬称略）	37

1 開催概要

(1) 目的

県内の中学生を対象に、自由な発想を引き出す斬新なカリキュラムで創造力を磨く。

(2) 参加者

県内在住の中学2年生及び3年生 24名（男子15名、女子9名）

(3) 開催日時

平成26年7月30日（水）～8月2日（土） 3泊4日

(4) 会場

青森公立大学国際交流ハウス（青森市大字合子沢山崎 153-4）

(5) 参加費

15,000円（宿泊費、食費、傷害保険）

(6) 塾長

川口 淳一郎 氏（宇宙航空研究開発機構教授）

【プロフィール】

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ（JSPEC/JAXA）、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めた。



(7) 進行役

工藤 倫子 氏（Office Rinko 主宰 キャリアカウンセラー）

【プロフィール】

青森県出身。大手化粧品メーカー、人材教育会社を経て、2010年キャリアカウンセラーとして独立。人材教育会社では、2004年ジョブカフェあおもり設立当初より、青森県内の若年者を対象とした就職支援事業に携わる。独立後は活動拠点を関東に移し「子ども達に夢を！」をテーマに、教育機関（子ども、教職員、PTA、教育行政機関等）を対象としたキャリア開発支援を手掛ける。同時に女性活躍推進、キャリアカウンセラーの育成を全国で展開している。これまでに関わった若年者は45,000人を超える。2012年青森県総合計画審議会委員（教育、人づくり部会）に就任。2012年電子書籍「何も持っていないと思っているあなたへ」出版。2児の母でもある。



2 参加者一覧

番号	氏名	ふりがな	性別	学校名	学年
1	金沢 麻央	かなざわ まお	女	県立三本木高校附属中学校	2
2	大湯 大河	おおゆ たいが	男	青森市立南中学校	2
3	宮下 さきの	みやした さきの	女	青森市立南中学校	2
4	鈴木 彩希子	すずき さきこ	女	青森市立南中学校	3
5	出町 樺納子	でまち かのこ	女	青森市立浪岡中学校	2
6	鷺尾 颯	わしお はやと	男	青森市立造道中学校	3
7	石川 貴里香	いしかわ きりか	女	青森市立甲田中学校	2
8	西村 百萌花	にしむら ももか	女	弘前市立第四中学校	2
9	松橋 真那	まつはし まな	女	弘前市立第五中学校	2
10	山口 毅杜	やまぐち たけと	男	五所川原市立第一中学校	3
11	片岡 羽	かたおか つばさ	男	五所川原市立第二中学校	2
12	村上 海斗	むらかみ かいと	男	黒石市立六郷中学校	2
13	木下 虎地郎	きのした こじろう	男	十和田市立三本木中学校	3
14	工藤 瑠衣	くどう るい	女	平川市立碓ヶ関中学校	2
15	三浦 海陽	みうら かいよう	男	平川市立平賀東中学校	3
16	須藤 未来	すとう みき	女	平内町立西平内中学校	2
17	福田 萌斗	ふくだ もえと	男	藤崎町立藤崎中学校	2
18	海江田 光平	かいえだ こうへい	男	中泊町立中里中学校	3
19	田中 良和	たなか よしかず	男	中泊町立中里中学校	2
20	上原子 野亜	かみはらこ のあ	男	野辺地町立野辺地中学校	2
21	山谷 啓太	やまや けいた	男	野辺地町立野辺地中学校	2
22	臼田 景暉	うすだ けいき	男	野辺地町立野辺地中学校	2
23	縄田 樹	なわた たちき	男	七戸町立七戸中学校	2
24	戸田 達宏	とだ たつひろ	男	七戸町立七戸中学校	2

3 カリキュラム

	7/30(水)(1日目)	7/31(木)(2日目)	8/1(金)(3日目)	8/2(土)(4日目)
6:00				
7:00		朝食、掃除	朝食、掃除	朝食、掃除
8:00		チャレンジプロジェクト1 【売れる商品づくり編(前半)】	バス移動	チャレンジプロジェクト1 【売れる商品づくり編(後半)】
9:00			チャレンジプロジェクト2 【スポーツ編】	休憩
10:00				生徒と教師のひらめき創造教室 【英語編(後半)】
11:00				休憩
12:00		閉塾式・記念撮影		
13:00	受付	チャレンジプロジェクト1 【売れる商品づくり編(前半)】	バス移動	
14:00	開塾式		昼食&昼休み	
15:00	ひらめきウォーミングアップ		休憩	生徒と教師のひらめき創造教室 【理科編】
16:00	休憩		生徒と教師のひらめき創造教室 【英語編(前半)】	休憩
17:00	オリエンテーション、アイスブレイク		川口塾長講演	
18:00	夕食	夕食	夕食	
19:00	交流企画 (創作ダンス)	交流企画 (外国人留学生との交流)	交流企画(川口塾長との交流)	
20:00				
21:00	入浴	入浴	入浴	

※表中の色は、開催場所を表しています。
 → 青森公立大学国際交流ハウス 2F ミーティングルーム
 → 青森公立大学 1F 交流ホール
 → 青森県総合学校教育センター 体育館

4 取組ごとの概要

(1) 開塾式

(7月30日(水) 13:30~14:00)

○三村知事からの挨拶

- ・いろいろなことを吸収できる中学生の時期に、既成概念にとらわれずに、自由闊達に考えたり、発想する力、創造する力を磨いて欲しいと考え、この塾を開催しています。
- ・また、この塾は、県内のいろいろな人と交流できる塾でもあるので、お互いに思ったことをたくさん言い合って、4日間楽しく過ごしてください。



○川口塾長からの挨拶

- ・この4日間の創造塾を通じて、あらかじめ決められたことから抜け出し、突然変異で破っていく力を身につけてください。意外な発想というのはどこからでも出せると思って欲しいと考えています。
- ・電車の中の英語塾の広告で、日本人はなぜ英語が上達しないか、それは日本人が完璧主義者だから、というものがありますが、いくつ忘れてしまったかを反省するのではなく、いくつ覚えられていたか、とプラスに考えてください。この塾では、全部やり切れなかったと思うのではなく、一つでも出来たらプラスだと思って取り組んでください。



○塾生自己紹介

- ・塾生が、一人ずつ30秒程度で自己紹介と抱負を述べました。



(2) ひらめきウォーミングアップ (7月30日(水) 14:10~16:30)

○アイスブレイク 1 (14:15~14:25)

開塾式直後の緊張を和らげるためのアイスブレイクでは、少なくとも2名以上の相手を見つけて、それぞれ1分以内で自己紹介し合いました。(名前、学校、学年、部活動など)



○アイスブレイク 2 (14:30~15:00)

課題「ドラえもんの新アイテムを考えなさい」

4人ずつ6グループに分かれ、グループでアイデアを考えました。その後、2グループずつ3つのペアを組み(例えばAグループとBグループなど)、組んだペアの中で交替で発表。一方のグループの発表をもう一方のグループが聞き、必要に応じて質問を投げかけました。

※3つのペアが同時進行



○個人ワーク (15:10~16:20)

引き続き、2グループずつ3つのペアを作り、その中で個人の自由な発想を競いました。

【進め方】

(1) 課題を考える

各グループで他のグループに与える課題を考える。出てきた課題を3つに絞り、それぞれ3つのペアに割り振る。

- <条件>・課題は知識の有無を前提としない
- ・提示した課題例は自由にアレンジしてよい

(2) 個人で答えを考える

(3) グループ対決

グループのなかで答える順番を決め、個人のアイデアをぶつけ合う団体戦を行う。ジャッジは他の2つのペアの塾生たちが行い、勝負を決める。これを3ペア分繰り返す。

まず、各グループから出たテーマ案をもとに、各グループの代表同士で話し合いを行い、次のように対決テーマを決めました。

AグループとBグループの対決テーマ

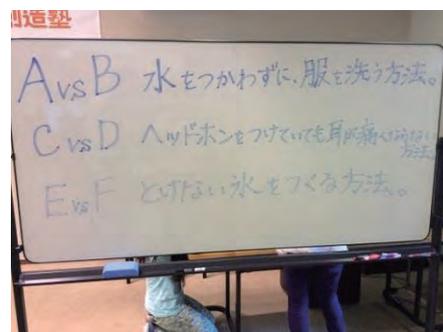
「水を使わずに服がきれいになる方法を考えなさい」

CグループとDグループの対決テーマ

「休憩なしで一年間ヘッドフォンをつけていても耳が痛くならない方法を考えなさい」

EグループとFグループの対決テーマ

「絶対にとけない氷を作る方法を考えなさい」



○Aグループ対Bグループ

対決テーマ「水を使わずに服がきれいになる方法を考えなさい」

【塾生の主な回答】

- ・「摩擦熱で殺菌すればよいと思う」
- ・「固体の石けんを使って汚れを落とし、雪や氷で洗い、風で乾かす」
- ・「固体の重曹（炭酸水素ナトリウム）を服にかけて加熱すると、炭酸ナトリウムと水と二酸化炭素に分解されるので、この水を使えばよい」
- ・「塩には殺菌作用があると聞いたので、塩でもみ洗いをすればよい」

「服のにおいを取るには炭を使えばよいと思う」という意見に対して出た「炭を使えば白い服が黒くなってしまわないのでは？」という質問には「黒い服だと思って着ればよいと思います」と軽妙に切り返すなど、時に笑いを誘いながらディベートが行われました。

発表を聞いていた残りの4グループの塾生たちの多数決で個人対決の勝ち負けを決めた結果、3対1でBグループが勝利しました。



○Cグループ対Dグループ

対決テーマ

「休憩なしで一年間ヘッドフォンをつけていても耳が痛くならない方法を考えなさい」

【塾生の主な回答】

- ・「全身麻酔を打てばよい」
- ・「痛くなる前に痛み止めの錠剤を飲めばよい」
- ・「ヘッドフォンが耳に触れる箇所にスポンジなど耳にやさしい素材を使う」
- ・「定期的にクラシックなどリラックスできる音楽を流す」
- ・「片耳だけにイヤホンをつけて、定期的に左右交互に入れ替えればよい」
- ・「形状記憶素材で出来たヘッドフォンで耳を覆えばよい」

グループ対決は2対2の同点となりました。



○Eグループ対Fグループ

対決テーマ「絶対にとけない氷を作る方法を考えなさい」

【塾生の主な回答】

- ・「真空の中に水素と酸素を2：1の割合で入れて寒いところでじっくり凍らせればとけにくいものができる」
- ・「真空の容器のなかで氷をひもでつるしておけば熱が伝わらないのでとけない」
- ・「融点の高い液体で氷を作る」
- ・「金属は熱に強いので、氷を金属で囲う」
- ・「氷を宇宙の日陰に持って行けばよい」

グループ対決は4対0でFグループが勝利しました。

○塾長講評

全身麻酔だと音は聞こえなくなりますが、課題には音楽を聴くとはどこにも書いていませんね。屁理屈ではあるけれども、音を聴くという先入観があるから議論には勝てます。ディベートで大事なことに気づいて、良かったと思います。また、鋭い質問を受けたとき、とっさに上手い切り返しができるかがディベートでは大事です。そういった点が見られたのが良かったと思います。

(3)「あおもり若者プロジェクト クリエイト」による交流企画 (7月30日(水) 17:00~17:40)

青森市内の高校生が所属するNPO法人「あおもり若者プロジェクトクリエイト」から参加したボランティアスタッフによる交流企画。高校生ならではの企画に会場は大いに盛り上がり、塾生の緊張もほぐれました。



(4) 交流企画 (創作ダンス)

(7月30日(水) 19:00~20:30)

1日目の夕食後は、塾生同士の親睦を深めるための交流企画。6人ずつ4グループに分かれ、ダンスの創作と実演を行いました。

各グループに、様々なジャンルの音楽が入った iPad を1台ずつ配布。塾生たちは好きな音楽を選んで、短時間で即興ダンスを作り上げ、全員の前で披露しました(実演は各グループ3分程度)。初日の緊張からくる疲れも感じさせず、中学生らしい生き生きとした表情を見せていました。

Aグループ (鈴木彩希子、石川貴里香、須藤未来、田中良和、上原子野亜、臼田景暉)



Bグループ (鷺尾颯、西村百萌花、松橋真那、片岡羽、三浦海陽、縄田樹)



Cグループ (金沢麻央、大湯大河、出町樺納子、山口毅杜、山谷啓太、戸田達宏)



Dグループ (宮下さきの、工藤瑠衣、村上海斗、木下虎地郎、福田萌斗、海江田光平)



(5) チャレンジプロジェクト1 (売れる商品づくり編)

(7月31日(木) 8:00~15:00、8月2日(土) 8:00~9:30)

7月31日(木)

○課題内容、ルールの説明 (8:00~8:20)

■課題

限られた予算、時間、人員のなかで、「売れる青森のおみやげ(食べ物に限る)」を作りなさい。

■売れるおみやげの条件

- (1) おいしそう
- (2) 青森に行ってきたと分かる
- (3) 持ち運びやすい(大きくなくて軽い)
- (4) 見た目がお洒落

■製作物

- (1) お菓子の試作品(数個)
- (2) お菓子を入れる箱のデザイン
- (3) お菓子のレシピ、売りなどをプレゼンするための模造紙

■グループ分け

6名×4グループ

■グループごとの予算

1,500円

■材料購入場所

サンロード青森、イオン

■調理場所

宿泊棟の各部屋(1グループにつき1部屋を割り当てる)

■使用できる設備、道具

IHクッキングヒーター(各部屋2台ずつ)、電子レンジ(オーブン付き)、ミキサー、鍋数種類、フライパン、泡立て器、ボウル、包丁、まな板、各種食器、はさみ、のり、色画用紙

■留意事項

おみやげを購入してもらうターゲット層を事前に設定したうえでアイデアを考えることとする。

○グループ単位でアイデア出し (8:20~9:20)



○材料購入 (9:30~11:30)

9:30 ~ 10:00 移動 (会場→材料購入場所)

10:00 ~ 11:00 材料購入

11:00 ~ 11:30 移動 (材料購入場所→会場)



○製作 (12:30~15:00)



8月2日(土)

〇プレゼンテーション (8:00~9:30)

【アイデア一覧】

	メンバー	商品名	商品の内容	ターゲット	販売価格	販売場所	その他特徴
A グループ	石川、木下、 三浦、工藤、 福田、戸田	たれまる	スタミナ源たれとリンゴジャムで味付けした煮リンゴが具のまんじゅう	全年齢	4個入り 500円	スーパーなどでスタミナ源たれの隣に置く	工夫した点は、スタミナ源たれの味を活かしつつ、甘みが残るようにしたこと。
B グループ	金沢、鷺尾、 松橋、須藤、 海江田、上原 子	ひらめき 林檎サンド	煮詰めたリンゴとホイップクリームをプレーンとチョコ味のホットケーキで挟んで甘く仕上げたお菓子	子供から大人まで	2個入り 594円	駅前のお土産屋さんで販売	大人も楽しめるよう、ビター味のチョコを使用。
C グループ	大湯、鈴木、 西村、村上、 田中、縄田	青森の宝 石～片手で ポン～	ラーメン、鍋、みそ汁などに入れるだけで青森の味を楽しめる調味料	—	12個入り 298円	—	一つ一つの風味が強力なので、入れすぎるとちょっと身体に悪い。
D グループ	宮下、出町、 山口、片岡、 山谷、臼田	ふらいど ふる一つ	餃子の皮の材料で生地を作り、ブルーベリーとリンゴのジャムを包んだお菓子	揚げ物と甘いものが好きな人、大家族	15個入り 1,000円	青森、秋田、岩手、宮城県内の主要駅	—



たれまる



ひらめき林檎サンド



青森の宝石～片手でポン～



ふらいどふる一つ

○主な質疑応答の様子

Aグループ

Q スタミナ源たれの味を活かしながら甘みも残るようにした工夫の仕方を教えてください。

A スタミナ源たれの中でも味が薄めのものを使用。スタミナ源たれの中にもリンゴが入っているそうなので、リンゴジャムの甘みでスタミナ源たれの独特のにおいを抑えました。

Q あえてスイーツとスタミナ源たれを組み合わせる理由は？

A 斬新なので注目が集まると思ったからです。



Bグループ

Q 一個あたり 300 円近くなりますが、味に自信があるとしても、どうしてそんなに高くなったのですか？

A 材料費と自分たちに入ってくるお金（利益）を考えたら、この値段になりました。でも味には自信があるので問題ないと思います。

Q お土産屋さんで売るときに、この商品がどのように分類されるかによって商品を置く場所が変わってくると思うのですが、どの分類に当てはまるのですか？

A 要冷蔵食品などでケーキコーナーに置きます。

Q 質問というよりはアドバイスなのですが、青森の特産物がリンゴしか使われていないので、例えばブルーベリーなど、いろいろな特産物を使ったらいいと思いました。

A ご意見ありがとうございます。最初、ブルーベリーなどを使う案もあったのですが、統一感を出すことと、味が混ざってしまわないように2つに絞りました。



Cグループ

Q 商品が小さいビンに入っていて、名前が宝石なので、飴などの中身を想像してしまうのですが、説明を書くスペースがないなかで、この商品が調味料だということをどうやって宣伝するのですか？

A パッケージの裏に「青森の味を味わえます」と書くことで、調味料を連想できるようにしています。

Q でも、商品を置くときは、表側の「片手でポン」しか見えないのでは？中ににんにくなどが入っていることもパッと見は分からないのでは？

A 説明を書くスペースを工夫できると思います。



Dグループ

Q このお菓子は、ジャムがあれば、青森でなくても作れるように思うのですが、これを青森のおみやげとした理由は何ですか？

A 青森県の人手作りで作っていることをアピールポイントとして売り出しています。日本一のリンゴの産地、青森ならではの商品です。

Q あんどーナツのような生地ではなく、なぜ餃子の皮でやってみようと思ったのですか？

A スイーツの中に、ちょっとしたしょっぱさを出したかったので、多少の塩が含まれている餃子の皮にしました。



以上の発表と質疑応答のやりとりを踏まえて、修正したアイデアを再度発表しました。

【修正内容一覧】

	商品名	修正内容
A グループ	たれまる	スタミナ源たれを使用していることをパッケージに明記した。
B グループ	ひらめき林檎サンド	<ul style="list-style-type: none"> ・値段は498円に値下げした。 ・要冷蔵のため、おみやげ店のケーキコーナーで販売する。 ・ブルーベリー味やはちみつ味の生地も作ることにする。
C グループ	青森の宝石 ～片手でポン～	東京などで、青森の味を味わう期間限定のイベント「青森フェス！」を開催し、商品をPRする。
D グループ	ふらいどふる一つ	<ul style="list-style-type: none"> ・商品名を「ふらいどふる一つ」から「あおりユニーク揚げ in ジャム」に変更した。 ・ターゲットを大家族向けから家族向けに変更した。 ・中にリンゴとブルーベリーのジャムが入っていることを明記した。 ・15個入り1,000円から10個入り650円に変更した。 ・帰省ラッシュ時には100円引きの550円で販売する。 ・高速道路のサービスエリアでも販売する。

これらの商品の中で、自分のグループ以外の商品で最も良いと思うものに一度だけ手を挙げ、その総数を集計した結果、Aグループの商品「たれまる」が1位となりました。

○塾長講評

取組の企画段階では、塾生たちの考えが途中で変わることを想定していましたが、一目散に買い物を済ませてしまったグループもあったと聞きました。最初に売り場を見てからアイデアを出すと、また違って来るかもしれません。Aグループの商品は、ちょっと常識外なところが一番良くて、最も創造塾にふさわしい商品だったと思います。次回やるときには、模擬店みたいところで一時間くらい観光客にスコアをつけてもらおうと、その場で売り方を変えることになったり、もっと面白くなると思います。

(6) 生徒と教師のひらめき創造教室（英語編）

（7月31日（木）15:30～18:00、8月2日（土）9:40～10:50）

7月31日（木）

○講師自己紹介（15:30～15:35）

- ・鹿内裕一先生（青森市立浪岡中学校）（リーダー）
- ・小笠原さつき先生（青森市立新城中学校）
- ・野崎愛先生（青森市立造道中学校）
- ・伊瀬谷和樹先生（青森市立西中学校）

（青森市教育委員会 ALT）

- ・アンソニー・ネルソンさん
- ・クリスティン・アームストロングさん
- ・エリック・ラーセンさん
- ・キンバリー・ギレスピーさん
- ・ニコライ・ゴルベンさん
- ・ライエン・リンさん
- ・シャンダ・カニングハムさん
- ・イヴォン・ディアズさん



○ウォーミングアップ（15:35～15:45）

- ・音楽が鳴っている間は部屋の中を自由に動き回る。
- ・音楽が止まったら、隣にいる人とじゃんけんをし、勝った人から自己紹介をする。
- ・上記を3～4回繰り返し、多くの人と挨拶を交わす。

○テーマを与える（15:45～16:00）

ウォームアップに引き続き、講師チームのリーダーである鹿内先生が、英語編の課題テーマのクイズを出しました。



スポーツ選手が滞在する場所のようです



2年前のロンドンにもこの施設がありました



そう！オリンピックの選手村ですね

○テーマ

“Where do you make the Olympic Village in Aomori?”

○グループでアイデアを出す項目

- 1 Place (選手村の場所)
- 2 Food (提供する食事)
- 3 Facilities (選手村の施設)
- 4 Originality (独自の特色)
- 5 Name (名称)

○グループディスカッション (16:00~18:00)

各グループで講師1名、ALT 2名がサポート役となり、アイデアを出し合い、模造紙にプレゼンテーションの内容をまとめました。



8月2日（土）

○プレゼンテーション（9:40～10:50）

グループディスカッションでまとめた内容をもとに、選手村誘致のプレゼンテーションを行い、グループ全員が発表しました。

グループ1（石川、木下、三浦、福田、工藤、戸田）

選手村の名称

Happy Toworld

選手村の場所

十和田湖（十和田市）

提供する食事

寿司、そば、天ぷら、リンゴのデザート、
けの汁、せんべい汁

選手村の施設

病院、ショッピングモール、アミューズメントパーク、駅、空港

選手村の特徴

- （1）エイリアンを呼べるようにスペースセンターを設置
- （2）ウォンカ・チョコレート工場を設置
- （3）チョコレート工場では映画「チャーリーとチョコレート工場」の主人公チャーリーを演じたジョニー・デップに会うことができる



【プレゼンテーション全文】

Hello! We are group one. The name of our village is "Happy Toworld". It is in Towada lake, because Towada lake represents Aomori prefecture.

At first, there is a restaurant. Here, we will serve delicious food. For example, Japanese foods like Sushi, Soba, Tempura, seafood bowl, and Aomori's speciality products like apple desserts, Keno-Shiru, Senbei soup and other things. You can enjoy world-wide buffet here. All meals are made by special cooks, so you can enjoy eating them.

First, I will introduce about facilities. Happy Toworld has many facilities. There will be a hospital, shopping mall, and amusement park. They are a lot of fun. And there will be many means of transportations. For example, a station and an airport. We will build these facilities under lake Towada.

Next, I will introduce special and unique facilities. There will be a space center, so we can invite aliens to Towada. And, there will be the Wonka's chocolate factory, so we think players can relax and have fun. All facilities will be under the lake.

Happy Toworld is the No.1 Olympic Village, because we have a space center and expensive restaurants and chocolate factory. At the space center, you can go to the moon. Have a nice space trip! At the expensive restaurants, you can eat foods around the world. At the chocolate factory, you can make chocolate. You can meet Charlie at the chocolate factory. Of course, it's Johnny Depp. So, Happy Toworld is the No.1 Olympic Village. Thank you.

グループ2（金沢、鷲尾、松橋、須藤、海江田、上原子）

選手村の名称

Keppare Village

選手村の場所

青森市

提供する食事

日本食、外国食、スープバー、
祭りの食べ物、ジャングルで取れる
食材

選手村の施設

日本舞踊のスタジオ、青森の四季を
楽しむことができるホール

選手村の特徴

- (1) 津軽弁センターで方言を習うことができる。
- (2) エネルギーッシュなおじいちゃん、おばあちゃんと山菜採りができる。



【プレゼンテーション全文】

Kohei: Hey, Noa! How are you?

Noa: I'm fine, thank you. And you?

Kohei: I'm so so. Japan will host the 2020 Olympics. There is a super Olympic Village. It's called "Keppare village". In Aomori dialect, "Keppare" means "never give up".

Noa : Wow! I will tell everyone. See you.

Kohei: See you.

Noa: (Ring! Ring! Ring!)

Hayato: Hello!

Noa: Hello, Hayato. How are you?

Hayato: I'm very, very sleepy.

Noa: Oh, I see. Did you hear about the Keppare village?

Hayato: Of course! Let's Face Time.

They have the best food ever. They have Japanese food, foreign food, a soup bar, festival foods, and edible food jungle. You can eat lions, tree, and mouse.

Noa: Wow! I will tell everyone.

Hayato: See you!

Noa: See you.

Noa: (Ring! Ring! Ring!)

Mana: Hello!

Noa: Hello, Mana. How are you?

Mana: I'm very excited!

Noa: I see. Did you hear about the Keppare village?

Mana: Of course! We have the coolest facilities. We have spas, fireworks shows every night, a Japanese dance studio, and a four seasons hall. The four seasons hall has flower fields for spring, snow for winter, Nebuta festival for summer, and color changing leaves for fall.

Noa: Wow! I will tell everyone.

Mana: See you!

Noa: See you.

Noa: (Ring! Ring! Ring!)

Mao: Hello!

Noa: Hello, Mao. How are you?

Mao: I'm tired.

Noa: Did you hear about the Keppare village?

Mao: Of course! Did you know that you can study local dialect at the Tsugaru-ben language center and do mountain vegetable picking with energetic grandma and grandpas?

Noa: Wow! I'll tell everyone.

Mao: Nice. See you.

Noa: See you.

Noa: (Ring! Ring! Ring!)

Miki: Hello!

Noa: Hello, Miki. How are you?

Miki: I'm good.

Noa: Did you hear about the Keppare village?

Miki: Of course! Let's Face Time.

Aomori city will host it. Aomori city has beautiful mountains, forests, and the kindest people.

Noa: I'm so excited to go.

All: Let's go to Keppare Village!

グループ3（宮下、出町、山口、片岡、山谷、臼田）

選手村の名称

Wonderful Snow Forests Nebuta Village of Nature

選手村の場所

青森市（浪岡地区）

提供する食事

アップルライス、ガーリックライスなど

選手村の施設

スペースセンターと水槽の中の魚を

食べられる水族館を設置

選手村の特徴

スペースセンターから月に行くことが

できる



【プレゼンテーション全文】

Hello, everyone! Our village's name is "Wonderful Snow Forests Nebuta Village of Nature", because Aomori snows and has many trees. Aomori also has Nebuta and Namioka has nature.

Aomori has snowforest and Nebuta. We want people to think Aomori is beautiful and great. Our village will be in Namioka by Aomori city because it is wide and has an airport, train station, sea, and food. I think it is very convenient.

Our village will have new food. For example, apple rice, garlic rice, hamburger on potato pizza. If you eat it, you can be powerful.

Our village will have a space station, because athletes can be relax when they are tired. Also, we will make an aquarium, because players can eat fish living in the water tank. That is the fish tank menu. You can eat shark, too. Then, there is a gym in our village for players. It has the best quality machine in the world.

Our village will have a lot of restaurant, because players are very hungry because they practice sports. They can have foods from all over the world. We will make the biggest Onsen in Japan. Players can swim there. It is fun. Also, you can play game in the bathtub. You can relax.

Our village is unique because there is a space station. So, you can go to the moon! And we have a fish tank menu. You can eat many fish. We have new ideas for food. You will be surprised. But, our food is very delicious, so don't be scared. And, because there is a space station, Aliens are welcome!

Thank you for listening.

グループ4（大湯、鈴木、西村、村上、田中、縄田）

選手村の名称

Blue Star Village

選手村の場所

青森市

提供する食事

酸ヶ湯ラーメン（とてもしょっぱい）、
 ごぼうスパゲッティ、中泊トマトカレー、
 スチューベンアイスなど

選手村の施設

新ディズニーランドと新ディズニー
 シーを建設



【プレゼンテーション全文】

Hello, everyone. We like to make an Olympic Village in Aomori city. It is called "Blue Star Village". It is special because it is a man-made island in Aomori bay. First we talk about food. We have a lot of pasta. Sukayu ramen is very salty like Sukayu hot springs. Sukayu ramen has tuna, salt, and garlic. We also have Gobo spaghetti with Jyusanko Shijimi, and black garlic. Gobo spaghetti is very delicious.

The new Aomori hamburger have scallops and tuna. This hamburger is new and delicious. The Gobo croquette is new and delicious, too. Besides, this croquette is simple and natural.

We have two kinds of curry. First, Nakadomari tomato curry is very delicious. Second, Apple curry is very sweet. The curry is cold and served with no rice, but shaped ice instead. We have steuben ice cream from Tsuruta city. It's very big like Mount. Iwaki.

Next, we look for about facilities. We want a massage room because we want athletes to have a good rest. Also, we want gyms so athletes can train their bodies.

We want to build a new Disney Land and Disney Sea. There will be a Gobo rollercoaster, a tea cup ride, apple ferris wheel.

We want to make a virtual game road, so athletes can play games, and skype with families and friends back home. We also want to make a library, so athletes can read magazines or some novels.

That's all. Thank you very much.

○結果発表

各グループのプレゼンテーションを全員で採点（1点～5点）しました。全員の投票により1位に選ばれたのは、Keppare Village を提案したグループ2の皆さんでした。ストーリー仕立てのプレゼンテーションが高い評価を受けました。

1位となったグループの皆さんには川口塾長からメダルが直接授与されました。



○塾長講評

全てのグループのプレゼンを拝見しましたが、期待していたよりもずっと出来が良く、嬉しかったです。次回、もしこういった形式の取組を行うのであれば、ALTの皆さんと塾生たちが対決する形式にし、塾生たちは英語で、ALTの皆さんは日本語でプレゼンテーションし合ってはどうでしょうか。



(7) 交流企画 (外国人留学生との交流)
 (7月31日(木) 19:00~20:30)

2日目午後の生徒と教師のひらめき創造教室(英語編)と3日目午前のチャレンジプロジェクト2(スポーツ編)に参加している青森中央学院大学外国人留学生5名との交流会では、日本語のことわざと近い意味を持つ留学生の母国語を見せて、意味を当てるクイズを行いました。塾生達は、国と言葉は違っても、意味が似ている表現があることに興味を持った様子でした。



(8) チャレンジプロジェクト2 (スポーツ編)

(8月1日(金) 8:30~12:30)

○課題

限られた道具類を使って、今までにないスポーツを作る

○進め方

- (1) 5名ずつ、A~Fまでの6チームを作り、それぞれのチームで今までにないスポーツを考える。
- (2) 2グループずつ3つのペアを作り (AチームとBチーム、CチームとDチーム、など)、お互いが考案したスポーツをプレーし合う。
- (3) それぞれのペアで、どちらのゲームが面白いを決める。
- (4) 面白いスポーツの基準は①楽しさ②運動量の多さ③独創性④ルールの分かりやすさの4点。

○ルール

- (1) 1試合10分以内で終わること。
- (2) 明らかに危険なプレーや用具を壊すプレーは禁止。

○使用できるスポーツ用具

バレーボール、サッカーボール、テニスボール、ピンポン球、バドミントンラケット、卓球ラケット、ソフトバット、なわとび、フラフープ、卓球台、ミニゴール(1個)、バドミントンネット・支柱

○考案タイム (8:40~9:15)



○考案したスポーツのプレゼンテーション（9:15～9:45）

【アイデア一覧】

	メンバー	スポーツの名称	ルール
A グループ	大湯、宮下、 鷺尾、上原子	ラケットバス ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側のチームは、ラケットを使ってボールを落とさないようにつなぐ。 ・ラケットはバドミントンのものでも卓球のものどちらでもよい。 ・ボールは柔らかいスポンジボールを使用する。 ・守備側は、相手がボールを落とすように邪魔をする。 ・床にボールを3回落とした時点で、ボールは相手のものになる。 ・ゴールにボールを入れると1点。
B グループ	松橋、山口、 村上、工藤	ボウカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングとサッカーをミックスしたスポーツ。 ・持ち点は8点で、黄色のバットを倒したら得点2点。 ・他の障害物（バドミントンのラケットなど）を倒したらマイナス1点。 ・バットと障害物を一緒に倒した場合はゼロ点。 ・ディフェンスが倒した場合はディフェンスチームの減点になる。
C グループ	鈴木、出町、 田中、山谷	フラボール	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで向かい合ってドリブルでボールを運びながら相手のチームのフラフープにボールを入れることができれば得点。 ・フラフープを持っている人は頭上に上げ、相手のチームのボールが入らないように横に動く（横にしか動けない）。
D グループ	石川、須藤、 海江田、縄田	フラフープドッジ ボール	<ul style="list-style-type: none"> ・男子同士、女子同士2人1組となり、フラフープで体を囲みながらドッジボールを行う。 ・2人のうちどちらか一方がボールに当たったり、フラフープを落としたらアウト。アウトになった組は2人で外野に行く。
E グループ	西村、木下、 三浦、臼田	ドッジラグビー	<ul style="list-style-type: none"> ・1チームで内野（3人）と外野（2人）に分かれ、パスをつないで黄色の線を越えたら1点。 ・内野守備は相手に触れずに妨害する。 ・外野守備はボールを持っている攻撃側にボールを当てる。ボールを持っている人にボールが当たったら攻守交代。
F グループ	金沢、片岡、 福田、戸田	ランニングボール	<ul style="list-style-type: none"> ・フラフープに当たらないようにサッカーボールをドリブルして全員1往復する。 ・アンカーは1.5往復してボールをゴールに入れる。 ・時間が短い方が勝ち



○プレータイム (10:00~11:30)

1 ゲーム 10 分ずつ×6 ゲーム

【Aチーム vs Bチーム】



【Cチーム vs Dチーム】



【Eチーム vs Fチーム】



それぞれのチームの考えたゲームを一通りプレーした体験をもとにして、各チームがさらなる修正案を考え、再び発表を行いました。

○再プレゼンテーション（12:00～12:30）

【修正内容一覧】

	スポーツの名称	修正内容
A グループ	ラケットパス ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフェンスはバドミントンのラケット、ディフェンスは卓球のラケットを使用する。 ・ ボールはバドミントンのシャトルに変更する。 ・ ディフェンスが動けるゾーンを限定する。
B グループ	ボウカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黄色のバットを倒したときだけでなく、ゴールにボールを入れたときも得点とする。 ・ 持ち点は8点ではなく、人数×1点に変更する。 ・ プレー人数は、1対1ではなく、2対2とする。
C グループ	フラボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールが横に出たら、その出たところから始める。 ・ ゴールに入らないで出たら、真ん中から始める。 ・ ゴールのフラフープを持つ人がボールを極端によけるとファウル。 ・ ドリブルを3回以上するとファウル。 ・ 相手を押す、引っ張るなどラフプレーはファウル。
D グループ	フラフープドッジ ボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縄跳びで2人の身体を結びつけることとする。 ・ 片方がボールに当たった場合は、当たった方だけが外野に出る。内野に残った人は、他の2人のペアと身体をつなげる。
E グループ	ドッジラグビー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外野のボールは1つではなく、2つ（両サイド）とする。 ・ ボールを落としたらアウト。
F グループ	ランニングボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害物のフラフープにボールを当ててしまったときは、その場で腕立て伏せをする。 (男子は5回、女子は3回)

○塾長講評

- ・ Aチームのゲームは、途中でプレーが途切れたところから再開するところがアメリカンフットボールにそっくりなので、名称を「アメリカンラケットボール」とするのもよいのではないでしょうか。
- ・ Dチームのフラフープドッジボールは、修正案のほうではなく、元々のフラフープを使ったゲームのほうが面白かったと思います。とってもユニークでした。
- ・ Eチームのドッジラグビーは、試合で使うボールは1個という球技の大前提を根本から覆したところが奇抜で良かったと思います。
- ・ 試合をやる前のアイディアと後の改善点を並べて、学校の科目にでも入れたら面白いと思います。

(9) 生徒と教師のひらめき創造教室 (理科編)
(8月1日(金) 14:00~16:40)

○講師

副田俊司先生 (青森市立西中学校)
三上俊彦先生 (青森市立東中学校)
中島英敏先生 (青森市立荒川中学校)

○テーマ

限られた材料を駆使して、家庭用ビニールプールの片方の端に浮かせた船を反対側の端にタッチして引き戻すアイデアのユニークさを競う。



○ルール

- ・事前に準備されている材料と道具しか使えない。
- ・動かそうとする物体に直接触れてはいけない。

○材料

紙コップ、ストロー、たこ糸、発泡スチロール、割り箸、輪ゴム、粘土、磁石

○製作の様子



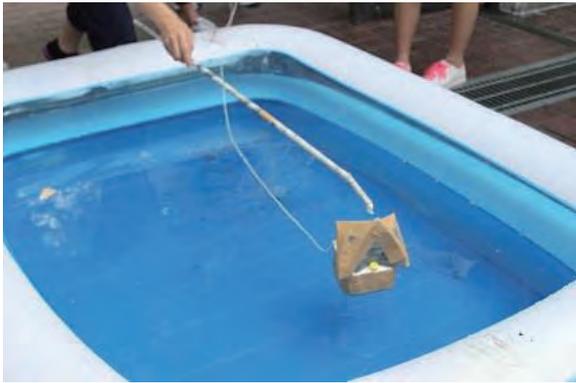
○実験の様子

3人の講師ごとに塾生8名ずつの研究室を作り、それぞれの研究室にあるプールを使って、試行錯誤して作り上げたアイデアを全員が披露しました。

【風力を利用して船を動かすアイデア】



【磁力を利用して船を動かすアイデア】



【プールを橋渡すケーブルで船を動かすアイデア】



【副田研究室（1班）代表 ゴムの張力で船を動かすアイデア】



【三上研究室（2班）代表 たこ糸をケーブルにして船を動かすアイデア】



【中島研究室（3班）代表 水の位置エネルギーを利用して船を動かすアイデア】



○塾長講評

いろんなアイデアを出す姿を見てると、本当に凄いと思います。一番良かったと思うのは、水の位置エネルギーを貯めるアイデア。これは充電と同じことですね。私は、ゴムでスクリューを回すというアイデアがきっと出てくるだろうと期待していたのですが、出てこなかったようです。風船に空気を入れて貯める案もあっていました。

長い船を作るアイデアも出ていましたが、これは実際に作った人がいましたね。名古屋から東京までたった 100 メートルでたどり着く方法の答えが、列車の長さを東京～名古屋間の距離と同じ長さにする、というのと同じことです。塾生のみなさんもさることながら、先生方のご努力に感謝します。



副田研究室（1班）の皆さん

（鈴木彩希子、金沢麻央、石川貴里香、山谷啓太、三浦海陽、戸田達宏、臼田景暉、田中良和）



三上研究室（2班）の皆さん

（西村百萌花、宮下さきの、鷺尾颯、福田萌斗、上原子野亜、海江田光平、須藤未来、工藤溜衣）



中島研究室（3班）の皆さん

（出町樺納子、縄田樹、村上海斗、山口毅杜、木下虎地郎、松橋真那、大湯大河、片岡羽）

(10) 川口塾長講演「太陽系大航海時代に向けて。今こそ帆を張るとき。」
(8月1日(金) 17:00~18:00)

【講演での川口塾長の主なメッセージ】

- 環境が人をつくる
- 見えるものは皆過去のものである
- 宇宙探査の目的—生命の起源を明らかにする—
- 私が宇宙を目指したきっかけ—火星探査機バイキングの衝撃—
- 私の50年後、100年後の宇宙のビジョン—太陽系大航海時代が始まる—
- やれる理由を見つけて挑戦することが大事



(11) 交流企画（川口塾長との交流）
(8月1日(金) 19:00~20:30)

○参加者の主な感想

- ・ここに来るまでは、ひらめきは、自分の中だけで出るものだと思っていたけれど、仲間と話し合ったり、違う考えを合わせることで、新しい考えが生まれることが楽しいと思いました。これからも自分だけの考えに閉じこもるのではなく、周りの考えも受け入れていろんなひらめきをしていきたいと思いました。
- ・1日目は、皆も自分も硬くて、仲良くなれるか分からなかったけれど、3日経てば皆の名前も覚えて仲良くなれたので、本当に嬉しかった。いろんな授業をとおして、ひらめくのは難しいけれど、ひらめいた先には自分の成長があるということが分かった。これからもずっとひらめきを大事にしていきたいです。
- ・初日遅れてきて、皆から外れるんじゃないかと不安だったけれど、3日経てばこんなに仲良くなった。今日学んだのは、今まで僕は、全て100%完璧じゃないと嫌だったけれど、今日の川口先生の講演のなかで、不完全さの中にも面白さがあるというのを聞いて、すごく納得しました。



・この塾でいろいろな刺激を受けて、もっと青森以外のところにも行って、もっと新しいことを見たり聞いたりしたいと思いました。

・初日のほうでは皆と仲良くできるかどうか不安だったけれど、3日経てば物凄く仲良くなれた。ただ、英会話であまりしゃべれなかったのが若干心残りでした。



・みんな考えもしないようなユニークな意見や考え方で、自分も影響されました。

・最初、無理っぽいというお題でも、皆と話していくうちにアイデアが出たりして、一人よりも皆で話すほうがいい案が出るなと思いました。

・初日の開塾式の日には皆緊張していて、皆仲良くなれないんじゃないかと思ったけれど、皆の名前を覚えてし、変なあだ名はつくし、楽しい3日間でした。

・この創造塾で、たくさんの自分のできないことなどが分かったので、もっと自分を向上させられるように頑張りたいです。



・初めは少し緊張して、皆と仲良くなれるか心配だったけれど、結果的に仲良くなれました。一番謝りたいのは、川口先生の前で寝てしまったことです。でも3日間充実した毎日を送ることができました。



・自分はアイデアを出すのが苦手でしたが、今回の3日間でそれなりに出せたので良かったです。



・この3日間でいろんな人の意見とかに触れて、その中で自分の創造力も高まっていったので、すごく充実した3日間でした。

- ・この3日間で、最初は緊張していたけれど、普段私は小さな学校で、とても狭い世界で生活しているということが、いろんな人との出会いで分かったし、普段学校で体験できないこともこの創造塾で体験できたので良かったです。



- ・最初は、みんな下向いてて怖くて恐ろしかったのですが、振り返ってみると皆個性的で変なあだ名も思いつくし、仲良くなった頃に別れてしまうのが寂しいのですが、このメンバーでクラスを作れたらいいなと思うくらい皆と仲良くなれて本当に良かったです。

- ・初日、スティーブ（とある塾生のあだ名）がすごく怖くて、なんか隣で下向いているし、暗い服を着てたから、「この人は無理！」って思っていました。でも今日スポーツで一緒のチームになって、優しく接してくれて嬉しかったです。皆仲良くしてくれるかなとか不安だったのですが、男子も女子も仲良くしてくれて嬉しかったです。明日別れてしまうのが寂しくて部屋に帰ったら号泣しそうですが、皆といられて嬉しかったです。



- ・ひらめくことも、それを実行することも難しいのですが、それを皆でやれてとても楽しかったです。3年生の女子は私だけだったのですが、皆仲良くしてくれてとても楽しかったです。

○川口塾長のことば

今日スポーツと理科を見たのですが、創意工夫を発揮するのに躊躇しなくなっていて、とても良かったです。普段、自分の個性やアイデンティティを出そうとすると周りから変人扱いされたりして、生きていくのに窮屈な思いをしたりするのですが、そういう人たちが自分たちらしくいられる場所ができるのはいいなと思っています。普段はなかなかアイデンティティを主張しにくい人たちが、こういうところに来て主張してもらうのはいいんじゃないかと思います。

○これまでの塾の生活で、心に残っていること、感じたことを川柳にして発表

- 「新しい 仲間の出会いは たからもの」
- 「仲間との 出会いでアイディア ひらめいた」
- 「3日経ち まだ覚えられない みんなの名」
- 「しゃべれずに 時間をつぶした 英会話」
- 「Kay J. の 美声が廊下に 響き渡る」(字余り)

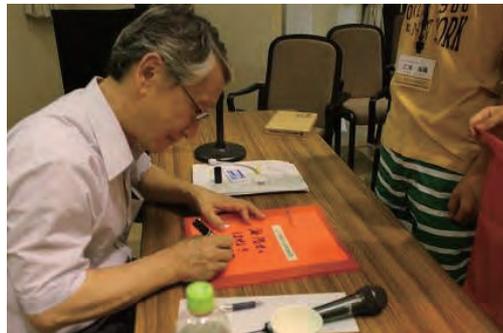
「夢のよう ほら気がつけば もう3日」
「緊張が 解けてき仲間が 増えていく」
「カメムシが 3日経っても 動かない」
「開塾式 ひらめき浮かばず 超アせる」
「交流の 数だけ増えた 創造力」
「生み出した 2人の友情 iPad」
「ひらめきは 大人も子供も 関係ない」



○川口塾長の川柳

「ひらめきに みなぎる自信 創造塾」
「第2回 未来ひらめき 創造塾」

○川口塾長サイン会の様子



(12) 閉塾式

(8月2日(土) 11:00~11:30)

○次第

- (1) 修了証授与 (川口塾長から塾生全員へ)
- (2) 佐々木副知事あいさつ
- (3) 塾長のことば
- (4) 記念撮影

○川口塾長のことば

- ・昨日、羽田から青森に向かう飛行機の中で、山崎パンの製品一覧を目にしました。その中の最後に、クロワッサンとドーナツを組み合わせた“Do What”という名の製品がありました。「クロワッツ」でも良かったのかもしれませんが、そうはならなかったようです。この“Do What”が良い言葉で、“Do what it is”、“Do essence”つまり「本質をつかめ」ということを指しており、大変気に入りました。
- ・最近、講演でこういう話をします。やはり郷土の生んだ石坂洋次郎が小説「若い人」の中でこんな言葉を書いています。「小さな完成よりも、あなたの持っている未完成のほうが遙かに大きい。」
- ・不完全であることを恐れない、ぜひこのことを旨として、決して「どうしたら100点が取れるか」と完成を求めるのではなく、未完成があることが大変うれしいと思って育てて欲しいと思います。
- ・この未来ひらめき創造塾がもっと大きくなって、次々と今日のようなたくさんの塾生が誕生することが何よりだと思っています。



5 塾期間中の参加者の様子



6 関係者一覧（敬称略）

生徒と教師のひらめき創造教室 英語担当講師	伊藤 直樹（青森市立新城中学校 校長） 鹿内 裕一（青森市立浪岡中学校 教諭） 小笠原 さつき（青森市立新城中学校 教諭） 野崎 愛（青森市立造道中学校 教諭） 伊瀬谷 和樹（青森市立西中学校 教諭） アンソニー・ネルソン（青森市教育委員会 外国語指導助手） クリスティン・アームストロング（青森市教育委員会 外国語指導助手） エリック・ラーセン（青森市教育委員会 外国語指導助手） キンバリー・ギレスビー（青森市教育委員会 外国語指導助手） ニコライ・ゴルベン（青森市教育委員会 外国語指導助手） ライエン・リン（青森市教育委員会 外国語指導助手） シャンダ・カニングハム（青森市教育委員会 外国語指導助手） イヴォン・ディアズ（青森市教育委員会 外国語指導助手）
生徒と教師のひらめき創造教室 理科担当講師	柿崎 秀典（青森市立甲田中学校 校長） 副田 俊司（青森市立西中学校 教諭） 三上 俊彦（青森市立東中学校 教諭） 中島 英敏（青森市立荒川中学校 教諭）
青森中央学院大学 留学生	コク・ニン・ジェイ（マレーシア） リク・リ・ジーン（マレーシア） ビーラブリナン・チャナックナン（タイ） レ・ティ・テュエット・ガン（ベトナム） レー・ティ・ハー（ベトナム）
高校生運営ボランティア	高山 智加（聖ウルスラ学院高校3年、日本の次世代リーダー養成塾第10期生） 藤原 優渚（青森南高校3年、日本の次世代リーダー養成塾第10期生） 三上 未夢（青森南高校3年、日本の次世代リーダー養成塾第10期生） 及川 皓太（八戸商業高校2年、日本の次世代リーダー養成塾第10期生） 副島 潤也（八戸工大二高校1年、第1回未来ひらめき創造塾塾生） 中新田 美咲（青森西高校1年、第1回未来ひらめき創造塾塾生） 田中 夢乃（青森高校1年、第1回未来ひらめき創造塾塾生） 菩提寺 和（三本木高校1年、第1回未来ひらめき創造塾塾生） 高坂 賢治（青森山田高校2年、NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト） 大水 万穂子（青森西高校1年、NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト） 崎野 真由（青森西高校1年、NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト） 鈴木 亜美（青森西高校1年、NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト） 中村 鈴花（青森西高校1年、NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト）



第2回 未来ひらめき創造塾 実施報告書

編集・発行 青森県企画政策部地域活力振興課人づくりグループ

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL 017-734-9133 FAX 017-734-8027

URL <http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/hiramekijyuku.html>

平成27年3月